

# 内川校長が文科省表彰

## 丸の内ビジネス専門学校 実践的な教育評価

丸の内ビジネス専門学校(松本市城西1)の理事長で校長の内川小百合さん(74)が、専修学校の教育に長く従事するなど顕著な功労があり、特に教育復興で功績を挙げているとして、文部科学省から「専修学校教育功労者表彰」を受けた。53年にわたって専修学校教育に携わり、高校生や留学生、社会人に実践的で専門性の高い教育を施したことなどが評価された。

(伊沢 陽)



内川さんは大学卒業

後、同校で日本語教師として働き、創立者で母親の明子さんの後を継いだ。国籍や障害の有無などに関係なく誰もが学べる場を提供しようと、30年以上前から留学生や社会人も積極的に受け入れている。時代に合わせた技能を身に付ける場が必要

専修学校教育功労者に選ばれ、表彰された内川さん

要とし、外国人が日本でしっかりとした仕事ができるよう、留学生の日本語習得と、日本企業で活躍できるようマナーやパソコン技能などが学べる学科を設けた。

表彰を受け内川さんは「長年やってきたご褒美かもしれない」とほほ笑み「後継者の育成に力を入れた。100周年を迎えるまで学校が続いていることが夢」と話していた。同表彰は専修学校制度発足の節目ごとに行われている。今回は全国で80人が選ばれ、県内では2人が表彰された。